

夕刊 松賀族之介と其の妻 新釋 磐城太平記 浩

「もう、妾は左京様の御機嫌を取らなす致したう、有に追われて、漂泊した浪人ませぬ。」

「貴方様も、婿もいねい、餘所事なぞ言ふて、妾のい、妾姿の此の苦しみを、有耶無耶に葬るのですか、妾わ。」

「族の妻は、冷たい夫の心に絶えかねたやうに、族の膝元に身を投げた。」

「何ぞ、泣きや、何が悲しうか、小者が見たら、したないと笑われようぞ。」

「かまいません、心から流す涙、妾は、恥しうと思ひませぬ、妾は、偽りだらけな悲しい者生地の生活の苦しさが絶えられぬ。」

「今更にか、うつけた事をが人間、幸福だったかも知れぬ。」

「あや子は一寸の間隙を沈言つたんでせう。」

「あや子は一寸の間隙を沈言つたんでせう。」

「あや子は一寸の間隙を沈言つたんでせう。」

「あや子は一寸の間隙を沈言つたんでせう。」

拈華微笑 八幡の櫻で浮いた。は良いが辭表問題のベレスト峰。磐城山争奪戦 炭入山の争奪戦

逝きし妹へ捧ぐ 眞白な小な白百合と世の鬼神は紅の可愛い、白百合に純白な花に、いやな汚い紅を落してそめたか憎らしい。

お蘭のお蝶 (300) 渡邊 誠 布施長春書

お蘭のお蝶 (300) 渡邊 誠 布施長春書

お蘭のお蝶 (300) 渡邊 誠 布施長春書

お蘭のお蝶 (300) 渡邊 誠 布施長春書

お蘭のお蝶 (300) 渡邊 誠 布施長春書

お蘭のお蝶 (300) 渡邊 誠 布施長春書

お蘭のお蝶 (300) 渡邊 誠 布施長春書

お蘭のお蝶 (300) 渡邊 誠 布施長春書

お蘭のお蝶 (300) 渡邊 誠 布施長春書

お蘭のお蝶 (300) 渡邊 誠 布施長春書

お蘭のお蝶 (300) 渡邊 誠 布施長春書



北海屋の 糯米 製 花見時になりまして 北海屋製菓部

cafe 喫茶・食事 吉野

松村醫院 院長 松村鐵郎 平町南町電一〇七

吉田眼科病院 平町紺屋町

學生靴 大賣出し 大塚製靴部

